

令和6年度「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」
対象事業①

事業名

民生委員等活動支援事業（民生委員協力員制度）
[担当：福祉部 福祉総務課]

1 事業内容

〈目的〉

民生委員・児童委員については近年、担い手不足で欠員が増えており、活動の負担感の増大等が要因として指摘されている。民生委員協力員を配置することで（任意設置）、民生委員活動の負担軽減及び地域福祉の担い手の新たな掘り起こしを図ることにより、地域福祉の推進を図る。

〈事業内容〉

民生委員・児童委員の活動負担の軽減を図るため、民生委員協力員を委嘱し、活動費を交付する。

民生委員協力員の活動内容としては、民生委員が協力を必要としている見守り活動・敬老大会を含む地域福祉活動についてサポートする。

※平成30年10月：民生委員協力員制度創設

※活動内容については、民生委員が協力を必要とする内容に限る

2 事業実績 〈決算見込額〉 890,400円 （@1,200円/月×742人月）

*令和6年度 [] 内はR5～R4年度実績

- ・配置状況 64人 [59人 - 50人]
- ・活動日数 平均3.1/月 [平均3.0日/月 - 平均3.4[日/月]
- ・活動件数 平均4.6件/月 [平均4.3件/月 - 平均4.6件/月]
- ・民生委員との連絡調整回数 2.3件/月 [平均2.7回/月-平均3.2回/月]

事業名	民生委員等活動支援事業（民生委員協力員制度） [担当：福祉部 福祉総務課]
3 事業担当課による自己評価	
<成果> ・令和6年度の人数は64人（令和7年3月31日現在）と、増加している。 ・コロナ禍前の生活様式が安定し、活動日数、件数ともに前年度と横ばいである。 ・令和4年12月の改選に伴い、新たな民生委員が委嘱された地区においても前任の民生委員から地域福祉の状況がしっかりと引継がれ、改選時より協力員が減少している地区もある。 ・副次的効果として、民生委員協力員を経て次の民生委員に就任したケースもあることから、引き続き担い手育成・確保に有効であると考えられる。 <課題> ・地域においても民生委員業務が大変であるとのイメージを持たれており、地域福祉の担い手の掘り起こしについて、市においても推薦母体である町会との意見交換を通じて負担軽減策を講じるよう努めている。 ・今後も地域に対して広く本制度の周知に努めるほか、民生委員制度そのものが持続可能な制度となるよう、活動にかかる負担を様々な面で支援するよう努めていく必要がある。	
地域福祉計画	基本目標2 地域で支え合う環境づくりの促進 2) 地域での見守りと助け合いネットワークの充実 地域住民による見守り等の福祉活動への積極的な参画を促進するとともに、居場所づくりや民生委員等への活動支援を行い、住民同士が支え合う地域活動の活性化を図ります。 基本目標3 地域福祉を支える担い手の育成・確保 2) 福祉の担い手づくり 人材の育成や担い手の確保のため、成年後見の申立件数の増加に対応できる体制の構築や市民への福祉に関する総合相談、ボランティアの養成などの福祉活動への参加促進、男女共同参画の推進のほか、高齢者の就労機会創出に伴う関係団体への助成や支援を行います。 地域で活動する団体の情報の集約化に努め、福祉活動を展開する団体はもとより、福祉分野以外の活動をしている団体と連携できる仕組みを研究し、地域を担う人材の発掘を行います。
総合計画 (参考掲載)	⑤福祉 1 高齢者福祉の充実 3) 地域ケアの推進

令和6年度「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」
対象事業②

事業名

弘前市社会福祉協議会除雪支援事業
[担当：福祉部 福祉総務課]

1 事業内容

〈目的〉

高齢者単身世帯、障がい者世帯、母子・寡婦世帯等、自力で除雪を行うことが困難である世帯の間口除雪を、地域のボランティアが行う除雪支援事業に対し、事業の実施主体である弘前市社会福祉協議会へ補助金を交付することにより、除雪困難者への雪対策および地域の中での見守り・支え合い等の地域づくりの推進を図る。

〈事業内容〉

弘前市社会福祉協議会が地区社会福祉協議会に対して実施する助成事業に対し補助金の交付により支援。

交付額：市社会福祉協議会が助成した額の1/3又は1,000,000円のいずれか少ない額

※地区社協の取組内容

以下の①～④をすべて満たす対象世帯

- ①高齢者、母子・寡婦、身体障がい者世帯で自力での除雪作業が困難な世帯
- ②資力的に除雪作業を業者依頼するのが困難な世帯
- ③当該世帯が所有する戸建て住宅に居住する世帯
- ④近隣に親戚等がなく、援助が見込めない世帯

上記に対し、利用者の負担なしで、除雪又は車道除雪等により当該世帯の間口に堆積した雪を地区社会福祉協議会のボランティアが除去し、生活道路を確保する。

2 事業実績 〈決算見込額〉 926,666円

*令和6年度 []内はR5 - R4年度の状況

- ・対象世帯数 695世帯 [705世帯-796世帯]
- ・ボランティア数 960人 [1,004人-1,078人]
- ・延実施回数 12,210回 [5,955回-13,872回]
- ・延作業人数 14,724人 [8,033人-18,713人]
- ・未実施地区数 二大地区 [二大地区-なし]

事業名	弘前市社会福祉協議会除雪支援事業 [担当：福祉部 福祉総務課]
3 事業担当課による自己評価	
<成果> ・今冬は豪雪により、延実施回数と延作業人数は昨年度より大幅に増加した。 ・市社協では、令和4年度より、地区社協への補助額を1世帯当たり3,000円から4,000円に増額している。 ・市では、毎年度市社協と市役所関係課を参集し、今冬の体制を確認する「雪処理に関する情報交換会」を開催している。 ・年末年始は豪雪の影響を受け、除雪困難者からの相談に備え市職員による当番体制を置き、間口除雪を行った。 <課題> ・令和6年度は市内25地区において事業実施されたが、除雪ボランティアがいないう理由から、町会単位でみると対応できない地域もある。 ・除雪ボランティア活動は、市と市社協をはじめとした各種団体との連携構築によって引き続き登録を推進し、除雪支援事業に対する除排雪における支え合いの仕組みづくりを目指していく必要がある。	
地域福祉計画	基本目標2 地域で支えあう環境づくりの促進 2) 地域での見守りと助け合いネットワークの充実 地域住民による見守り等の福祉活動への積極的な参画を促進するとともに、居場所づくりや民生委員等への活動支援を行い、住民同士が支え合う地域活動の活性化を図ります。
総合計画 (参考掲載)	—

令和6年度 除雪支援事業 実績

No.	地区名	世帯数	ボランティア数	助成金額	延べ実施回数	延べ実施人数
1	朝 陽	55	55	220,000	110	416
2	一 大	7	6	28,000	171	171
3	二 大	0	0	0	0	0
4	三 大	26	31	104,000	698	698
5	和徳南	1	1	4,000	13	13
6	時 敏	3	2	12,000	114	114
7	北	19	49	76,000	78	197
8	城 西	47	35	188,000	1,334	1,392
9	西	20	34	80,000	490	490
10	桔梗野	35	32	140,000	778	818
11	文 京	68	54	272,000	2,188	2,630
12	和徳北	15	24	60,000	100	163
13	清 水	32	40	128,000	727	764
14	豊 田	37	43	148,000	753	775
15	堀 越	8	8	32,000	341	341
16	千 年	72	105	288,000	631	1,145
17	藤 代	44	66	176,000	1,147	1,232
	槌 子	13	9	52,000	442	442
18	東目屋	21	39	84,000	95	115
19	船 沢	10	36	40,000	106	118
20	高 杉	20	75	80,000	325	574
21	裾 野	18	25	72,000	296	392
22	新 和	25	58	100,000	25	213
23	石 川	43	66	172,000	258	516
24	東	21	21	84,000	432	437
25	岩 木	25	36	100,000	278	278
26	相 馬	10	10	40,000	280	280
	合 計	695	960	2,780,000	12,210	14,724

令和6年度「生活困窮者支援等のための地域づくり事業」
対象事業③

事業名

ほのぼのコミュニティ21推進事業
[担当:福祉部 福祉総務課]

1 事業内容

〈目的〉

年々、地域から孤立する高齢者等が増え、孤立死するケースが増えてきていることから、地域住民や民間事業者などによる重層的な見守り活動を展開する必要がある。

住民ボランティアによる在宅のひとり暮らし高齢者等への訪問活動により、高齢者や障がい者がすみ慣れた地域の中で安心して暮らせような地域福祉社会を築くことを目指す。

〈事業内容〉

弘前市社会福祉協議会が行うほのぼのコミュニティ21推進事業に対し、事業に係る経費の一部を助成する。

・弘前市社会福祉協議会で行う事業内容

住民ボランティアである「ほのぼの交流協力員」が2～3名程度でほのぼの交流グループを編成し、在宅ひとり暮らし高齢者等の家を訪問、交流する事業を行う。

【対象世帯】在宅ひとり暮らし高齢者、寝たきり高齢者及び障がい者等がいる世帯

【訪問回数】週1回程度

2 事業実績 〈決算見込額〉 225,000円

*令和6年度 []内はR5 - R4年度の状況

- ・委託先 弘前市社会福祉協議会
- ・訪問対象世帯数 536世帯 [535世帯-568世帯]
- ・ほのぼの交流協力員 359人 [392人 - 429人]
- ・グループ数 255グループ [271グループ - 316グループ]
- ・未実施地区数 6地区 [4地区-3地区]

事業名	ほのぼのコミュニティ21推進事業 [担当:福祉部 福祉総務課]
3 事業担当課による自己評価	
<成果> ・地域で孤立する恐れのある高齢者等に対する交流の機会が創出された。 ・協力者数が減少する中、対象者数は横ばいとなっており、交流は活発に行われている。 ・少子・高齢化が進行する中、地域共生社会の実現を目指すための地域福祉の担い手の一つとして、地域住民の参加が得られており、人材育成の観点からも意義のある事業と考えている。 <課題> ・住民ボランティアがいらないため未実施となっている地区があることから、弘前市社会福祉協議会と継続して協議を行い実態把握に努め、地域で活動できる人材の発掘や確保に取り組む必要がある。 ・今後も少子・高齢化の進行が予想される中、地域の高齢者等の見守りにあたっては、様々な仕組みとの連携や活用が求められていることから、本事業も合わせた活用を図ることで、高齢者等の異変を早期に発見できる機会としていく。	
地域福祉計画	基本目標2 地域で支えあう環境づくりの促進 2)地域での見守りと助け合いネットワークの充実 地域住民による見守り等の福祉活動への積極的な参画を促進するとともに、居場所づくりや民生委員等への活動支援を行い、住民同士が支え合う地域活動の活性化を図ります。
総合計画 (参考掲載)	⑤福祉 1高齢者福祉の充実 3)地域ケアの推進

令和6年度 ほのぼのコミュニティ21推進事業 事業実績報告書

1 地区別対象者・協力者数

地区名	対象者数			協力者数			グループ数			対象者内訳				
	R6 年度	R5 年度	増減	R6 年度	R5 年度	増減	R6 年度	R5 年度	増減	一人暮 らし	高齢者 世帯	寝た きり	身体障 がい者	その他
一 大	8	8	0	6	7	△ 1	5	6	△ 1	8	0	0	0	0
二 大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三 大	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	0	0	0	0
和徳南	21	27	△ 6	14	12	2	12	13	△ 1	21	0	0	0	0
時 敏	2	4	△ 2	4	5	△ 1	1	4	△ 3	2	0	0	0	0
北	6	7	△ 1	5	5	0	5	5	0	5	0	0	1	0
城 西	52	32	20	20	17	3	20	15	5	48	1	0	2	1
西	3	2	1	4	3	1	3	2	1	3	0	0	0	0
桔梗野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
文 京	39	42	△ 3	17	19	△ 2	17	19	△ 2	38	1	0	0	0
和徳北	9	11	△ 2	12	15	△ 3	9	10	△ 1	8	0	0	1	0
清 水	5	5	0	6	6	0	3	3	0	5	0	0	0	0
豊 田	13	22	△ 9	17	23	△ 6	8	11	△ 3	13	0	0	0	0
千 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤 代	100	132	△ 32	17	22	△ 5	18	26	△ 8	100	0	0	0	0
東目屋	24	30	△ 6	35	44	△ 9	14	17	△ 3	24	0	0	0	0
船 沢	9	11	△ 2	7	9	△ 2	7	9	△ 2	9	0	0	0	0
高 杉	40	48	△ 8	49	68	△ 19	38	47	△ 9	35	3	0	1	1
裾 野	14	10	4	18	14	4	12	9	3	14	0	0	0	0
新 和	17	28	△ 11	16	21	△ 5	7	8	△ 1	17	0	0	0	0
石 川	61	0	61	10	0	10	7	0	7	53	2	0	2	4
岩 木	59	59	0	74	77	△ 3	55	55	0	53	5	0	0	1
相 馬	27	29	△ 2	24	22	2	10	9	1	26	1	0	0	0
(樋子町会)	25	27	△ 2	2	2	0	2	2	0	25	0	0	0	0
合 計	536	535	1	359	392	△ 33	255	271	△ 16	509	13	0	7	7